

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教職実践演習〔中・高〕(Practical Seminar for the Teaching Profession)		
ナンバリングコード	K40111	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 総合レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	4年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K006351	クラス名	-
担当教員名	藪内 聡和、河村 裕次、吉本 圭一郎、原田 敦史、中尾 正彦、斉藤 雄次		
履修上の注意、履修条件	教員として必要な知識・技能を修得したことを確認する教職課程の最後のまとめの科目です。全ての授業に出席することが原則です。ただ、やむを得ない欠席や遅刻等がある場合は事前の連絡をするなど、教員志望に相応しい行動を取るようによみましょう。また、授業には積極的・主体的に臨むとともに、授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	教職科目の授業で使用された教科書や資料全て及び「教職履修カルテ」その他、授業中に適宜指示します。		
関連科目	教職課程の全科目		

○基本情報	
授業の目的	本授業では、大学で学んだ教職関係及び専門領域に関する知識等と、教育実習等で培った実践的な学習指導や生徒指導等の経験知との統合を図るとともに、今日的な教育課題に関して不足している知識や技能等を補いつつ、教員として求められる以下の4つの事項の達成を目的とします。 1. 使命感や責任感、教育的愛情等を持ち、学び続ける姿勢が身についている。 2. 社会性や対人関係能力を身につけ、目的や状況に応じた適切な言動ができる。 3. 生徒の発達課題を理解し、信頼関係を築きつつ、学級集団を指導する力量が身についている。 4. 教科等の知識・技能(学習指導案作成含む)とともに、板書や発問、話し方等の基本的な授業技術が身についている。
授業の概要	本授業では、上記の目的を達成するため次のことを行います。 1. 教職関係の知識や実践力の自己評価 2. 教職の意義や教育課題、教員に求められる資質等の再確認 3. 学校教育の今日的課題の再確認と学び 4. 学校等の現状を学ぶ ・現職教員や教育委員会指導主事等を招いて話を聞き、教育現場の実態等を学ぶ ・フィールドワーク(自ら学校現場等に出向いて必要とされる様々な体験をする) 5. 模擬授業 ・全員が授業者と司会者(授業反省会)の体験をする
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目
実務経験のある教員による授業科目	[藪内聡和] 高等学校の教員として4年間、公民科の授業を担当。 [斉藤雄次] 高等学校の教員として9年間、地理歴史科・公民科の授業等を担当。 [中尾正彦] 小・中・高のスクールカウンセラー及び教員として40年間、教育相談及び授業等を担当。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教育に対する使命感や情熱を持ち、授業内容や課題等に主体的に取り組もうとする意欲や態度を示している。		10点	15点
【知識・理解】	教科指導等に関する必要な基礎的知識を修得し、適切な指導及び必要な具体的支援を理解している。		10点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	ロールプレイングやグループワーク、模擬授業等に主体的に参加する。レポートや指導案など、適切な文章表現ができる。		10点	15点
【思考・判断・創造】	学校や生徒をめぐる諸課題に対して、総合的・分析的にさまざまな観点から考察することができる。		10点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○演習科目のため、一般的な期末試験・中間試験は実施しません。(15回の授業の状況と課題等が成績評価の対象です)	
○レポートや学習指導案等が適切に記載され、〆切までに提出された場合に評価の対象とします。	
S: 課題に対する理解が十分あり、工夫され優れた内容が記されている。	
A: 課題に対する理解が十分あり、工夫された内容が記されている。	
B: 課題に対する理解があり、必要な内容が記されている。	
C: 課題に対する理解がある内容が記されている。	
D: 課題に対する理解が不十分である。	
※レポート等は次回以降の授業の際に返却します。	

○その他	
○授業では、自己評価や相互評価等を実施する場合があります。それらも、成績評価の参考にします。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	教職実践演習[中・高] (Practical Seminar for the Teaching P	授業コード	K006351
	担当教員	藪内 聡和、河村 裕次、吉本 圭一郎、原田 敦史、中尾 正彦、斉藤 雄次		
学修内容				
1. オリエンテーション				
○授業の目的、概要、留意事項など本科目のシラバスを確認する。				
○授業計画(フィールドワーク、模擬授業等)を確認する。				
○「履修カルテ」等をもとに、教職に関する自己評価を行う。				
	予習	「履修カルテ」を見直し、自己の成果と課題を確認する。	(約2.0h)	
	復習	資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートや指導案等に取り組む。)	(約2.0h)	
2. 教育とは～教職の意義、教育制度等～ (担当:藪内)				
○理想とする学校				
○今日の学校が抱えている課題				
○課題解決のための方策(国、学校レベル)の考察				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートや指導案等に取り組む。)	(約2.0h)	
3. 教師とは～教員に求められる資質や能力等～ (担当:中尾)				
○自分の人生において意欲を引き出した人、先生				
○信頼できる(不信感を抱いた)先生、良い(嫌な)クラス				
○教員に求められる資質や能力				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートや指導案等に取り組む。)	(約2.0h)	
4. 学校教育の今日的課題①～教育的視点から～ (担当:斉藤)				
○学校を取り巻く今日的な教育課題				
○課題内容の理解				
○課題に対する方策等				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートや指導案等に取り組む。)	(約2.0h)	
5. 学校教育の今日的課題②～福祉的視点から～ (担当:河村)				
○「こども基本法」とは何か				
○「こども基本法」と学校教育				
○子どもを取り巻く今日的な課題とその展望				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートや指導案等に取り組む。)	(約2.0h)	
6. 学校現場の現状を学ぶ				
○現職教員(教育委員会を含む)を招いて話を聞き、学校現場の現状を理解する。				
○フィールドワーク等の計画と確認				
	予習	本時授業内容(今日の学校教育の現状)の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートや指導案等に取り組む。)	(約2.0h)	
7. フィールドワーク～実施体験活動～				
○学校等(保育園、こども園等も含む)に出向き、子どもや教職員、施設等を観察したり、支援に参加したりする。				
※日時、施設等はオリエンテーションの際に確認する。				
	予習	本時授業内容の準備を行う。(出向く施設について調べたり、留意点や持ち物等の確認をしたりする。)	(約2.0h)	
	復習	レポート課題(振り返りシート、体験報告書)に取り組む。	(約2.0h)	
8. フィールドワーク～振り返り活動～				
○振り返りシート、体験報告書をもとに発表会を行う。				
	予習	本時授業内容の準備を行う。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	

○授業計画	科目名	教職実践演習[中・高] (Practical Seminar for the Teaching P	授業コード	K006351
	担当教員	藪内 聡和、河村 裕次、吉本 圭一郎、原田 敦史、中尾 正彦、斉藤 雄次		
学修内容				
9. 中間総括と今後の計画				
○1～8回までの学びの総括(振り返りとレポート作成)				
○模擬授業及び授業反省会の確認と計画				
・クラス編成 ・スケジュール ・必要な機材や教材等				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	
10. 模擬授業と授業反省会①				
※3つの教室に分かれ(A・B・Cの編成クラスごとに)授業と反省を実施				
○模擬授業(10～15分程度)と、授業反省会(10分程度)を体験する。				
○授業者、司会者は輪番制で全員実施				
○相互評価				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	
11. 模擬授業と授業反省会②				
※3つの教室に分かれ(A・B・Cの編成クラスごとに)授業と反省を実施				
○模擬授業(10～15分程度)と、授業反省会(10分程度)を体験する。				
○授業者、司会者は輪番制で全員実施				
○相互評価				
	予習	本時授業内容の予習(授業者の指導案検討)する。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	
12. 模擬授業と授業反省会③				
※3つの教室に分かれ(A・B・Cの編成クラスごとに)授業と反省を実施				
○模擬授業(10～15分程度)と、授業反省会(10分程度)を体験する。				
○授業者、司会者は輪番制で全員実施				
○相互評価				
	予習	本時授業内容の予習(授業者の指導案検討)する。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	
13. 模擬授業と授業反省会④				
※3つの教室に分かれ(A・B・Cの編成クラスごとに)授業と反省を実施				
○模擬授業(10～15分程度)と、授業反省会(10分程度)を体験する。				
○授業者、司会者は輪番制で全員実施				
○相互評価				
	予習	本時授業内容の予習(授業者の指導案検討)する。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	
14. 模擬授業と授業反省会⑤				
※3つの教室に分かれ(A・B・Cの編成クラスごとに)授業と反省を実施				
○模擬授業(10～15分程度)と、授業反省会(10分程度)を体験する。				
○授業者、司会者は輪番制で全員実施				
○相互評価				
	予習	本時授業内容の予習(授業者の指導案検討)する。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	
15. 振り返り(教職課程のまとめ)				
○本科目の授業全体を通しての振り返りとレポート作成				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	レポート課題の作成	(約2.0h)	
16.				
	予習	本時授業内容の予習を行う。	(約2.0h)	
	復習	授業内容を振り返り、資料等を読み直したり必要事項をノートに整理したりする。(レポートに取り組む。)	(約2.0h)	